



ダイビルグループ 2020年3月期決算説明資料

2020年5月20日
ダイビル株式会社

1. 2020年3月期連結決算 P.4
2. 2021年3月期業績予想 P.8
3. “Design 100”プロジェクト Phase-II の進捗状況 P.15
4. 参考資料 P.33

2020年3月期連結決算

- 中期経営計画「"Design100"プロジェクトPhase-II (2018～2022年度)」の2年目
- 既存ビルの稼働状況の向上、新規ビル（日本橋三丁目ビル、BiTO AKIBA、ダイビルPIVOT(札幌)）の収益寄与および政策保有株式の売却等により、営業収益・各段階利益はいずれも過去最高を更新。
- ROE（自己資本当期純利益率）は5.1%に上昇（2019年3月期4.5%）。

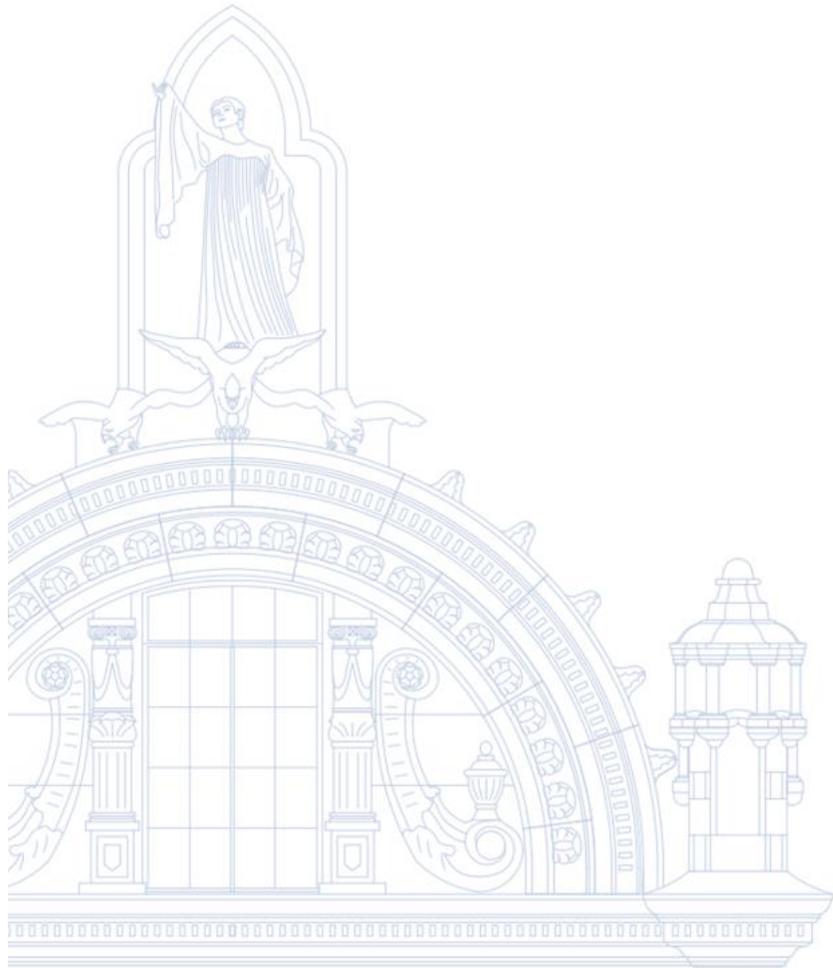
2021年3月期業績予想

- 新規ビルの通期寄与があるものの、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について現時点での想定を織り込み、減収減益を予想。

資本政策

- 配当…配当性向30～35%を目安として、安定的に配当を行う方針。
 - ・2020年3月期は、年間配当を21.0円/株(前期比+1.0円/株)とする予定(配当性向30.9%)。
 - ・2021年3月期は、減収減益の見通しながらも安定配当の方針を踏まえ、2020年3月期年間配当(21.0円/株)の据置きを予想(配当性向35.0%)。
- 自己株式取得…株主還元の拡充および資本効率の向上を図るため自己株式の取得（取得上限額25億円または取得上限株数200万株）を決定。

〈 MEMO 〉



- 営業収益・各段階利益のいずれも過去最高を更新
- 営業収益は7期連続で過去最高更新

(単位：百万円切捨)

	2019年3月期	2020年3月期	増減		ポイント
営業収益	40,637	42,817	2,179	(5.4%)	<土地建物賃貸事業> ・中之島ダイビル等、既存ビルの稼働状況の向上 ・新規ビル（日本橋三丁目ビル、BITO AKIBA、ダイビルPIVOT）の収益寄与 等
営業利益	10,329	11,561	1,231	(11.9%)	・減価償却費の減少 ・不動産取得税、固定資産税の増加 等
経常利益	9,953	10,858	905	(9.1%)	・持分法による投資利益の剥落 ・社債発行費の増加 等
親会社株主に 帰属する 当期純利益	6,993	7,932	939	(13.4%)	特別損益 <2020年3月期> ・特別利益：842百万円（投資有価証券売却益） ・特別損失：231百万円 （建替関連損失、固定資産除却損） <2019年3月期> ・特別利益：297百万円（投資有価証券売却益） ・特別損失：150百万円 （建替関連損失、固定資産除却損、 投資有価証券評価損、投資有価証券 売却損 他）

2020年3月期連結決算 ～ セグメント別 ～

(単位：百万円切捨)

	2019年3月期	2020年3月期	増減		ポイント
営業収益	40,637	42,817	2,179	(5.4%)	
土地建物賃貸事業	31,029	32,947	1,917	(6.2%)	・中之島ダイビル等、既存ビルの稼働状況の向上 ・新規ビル（日本橋三丁目ビル、BITO AKIBA、ダイビルPIVOT）の収益寄与 等
ビル管理事業	11,494	11,547	52	(0.5%)	
その他	534	842	307	(57.6%)	・工事請負高の増加 等
調整額	△ 2,420	△ 2,519	△ 98	-	
営業利益	10,329	11,561	1,231	(11.9%)	
土地建物賃貸事業	11,407	12,629	1,222	(10.7%)	・減価償却費の減少 ・不動産取得税、固定資産税の増加 等
ビル管理事業	533	531	△ 1	(△0.2%)	
その他	206	186	△ 20	(△9.7%)	
調整額	△ 1,817	△ 1,786	30	-	

2020年3月期連結決算 ～ 連結貸借対照表 ～

(単位：百万円切捨)

	2019年3月期	2020年3月期	増減	ポイント
流動資産	17,958	21,035	3,077	<ul style="list-style-type: none"> ・現金及び預金の増加 ・新規ビルの取得・竣工に伴う有形固定資産増加 (日本橋三丁目ビル、BiTO AKIBA、ダイビルPIVOT) ・減価償却による減少 ・投資有価証券の減少(時価評価減) 等
固定資産	346,796	362,390	15,593	
資産合計	364,754	383,426	18,671	
流動負債	21,083	31,669	10,586	<ul style="list-style-type: none"> ・有利子負債の増加 等 (2020年3月末残高 169,732百万円) (2019年3月末残高 153,412百万円) ・2019年7月に当社初となる20年債を発行
固定負債	187,942	193,928	5,986	
負債合計	209,025	225,598	16,572	
純資産合計	155,728	157,827	2,098	<ul style="list-style-type: none"> ・利益剰余金 +5,479百万円 ・その他有価証券評価差額金 △2,433百万円 等
負債純資産合計	364,754	383,426	18,671	
賃貸等不動産時価	528,418	570,777	42,359	
賃貸等不動産の含み益	213,029	235,415	22,385	<2020年3月期・一株当たり純資産額> 時価ベース(税引後)2,738円、簿価ベース1,337円

2020年3月期連結決算 ～ 連結キャッシュ・フロー ～

(単位：百万円切捨)

	2019年3月期	2020年3月期	増減	ポイント
営業活動による キャッシュ・フロー	14,101	14,570	469	
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 12,565	△27,303	△14,738	・有形固定資産の取得による支出の増加 等
財務活動による キャッシュ・フロー	9,453	13,685	4,231	・社債発行による収入の増加 等
現金及び現金同等物の 増減額	11,247	933	△10,314	
現金及び現金同等物の 期首残高	4,155	15,403	11,247	
現金及び現金同等物の 期末残高	15,403	16,336	933	

- 2021年3月期は、新規ビル(BiTO AKIBA、ダイビルPIVOT)の通期寄与があるものの、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響について現時点での想定を織り込み、2020年3月期比、減収・減益を見込む。

(単位：百万円切捨)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 業績予想	増減	ポイント	2021年3月期 中計数値
営業収益	42,817	42,500	△ 317 (△0.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規ビル (BiTO AKIBA、ダイビルPIVOT) の通期寄与 ・新型コロナウイルス感染症拡大による影響 	43,000
営業利益	11,561	10,500	△ 1,061 (△9.2%)	・修繕費、固定資産税の増加	11,000
経常利益	10,858	10,000	△ 858 (△7.9%)		—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	7,932	7,000	△ 932 (△11.8%)		7,000

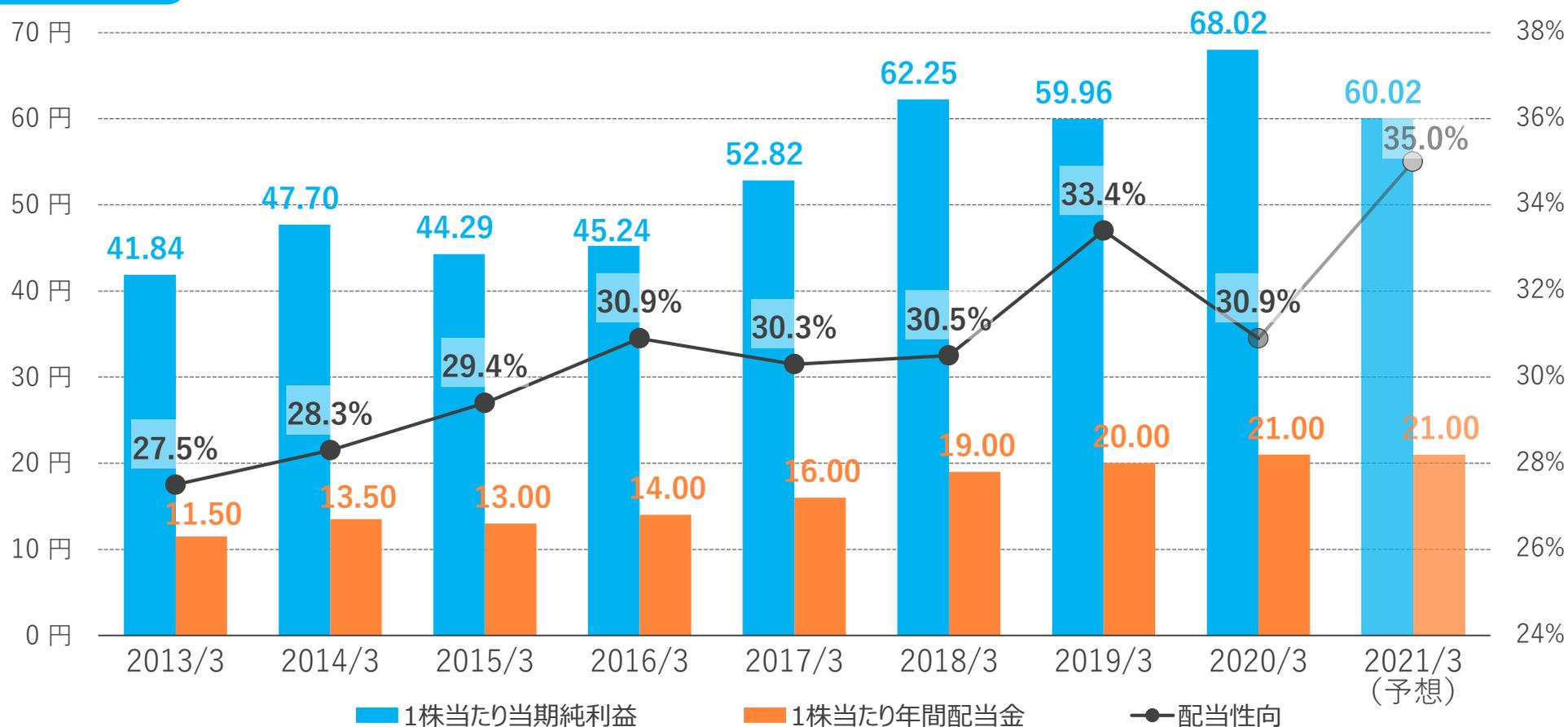
2021年3月期業績予想 ～ セグメント別 ～

(単位：百万円切捨)

	2020年3月期	2021年3月期	増減	ポイント
営業収益	42,817	42,500	△ 317 (△0.7%)	
土地建物賃貸事業	32,947	33,000	52 (0.2%)	・新規ビル(BiTO AKIBA、ダビエルPIVOT)の通期寄与 ・新型コロナウイルス感染症拡大による既存ビルの稼働状況の悪化等
ビル管理事業	11,547	11,500	△ 47 (△0.4%)	・新型コロナウイルス感染症拡大による受注減少等
その他	842	500	△ 342 (△40.6%)	・工事請負高の減少等
調整額	△ 2,519	△ 2,500	19 -	
営業利益	11,561	10,500	△ 1,061 (△9.2%)	
土地建物賃貸事業	12,629	12,000	△ 629 (△5.0%)	・修繕費、固定資産税の増加等
ビル管理事業	531	400	△ 131 (△24.8%)	
その他	186	100	△ 86 (△46.4%)	
調整額	△ 1,786	△ 2,000	△ 213 -	

- 配当方針：配当性向30～35%を目安として、安定的に配当
- 2020年3月期：年間21.0円(予定) 配当性向30.9%
- 2021年3月期：年間21.0円(予想) 配当性向35.0%

配当推移



※2014/3は記念配当 (+1.5円) を実施

概要

- 取得対象株式の種類：普通株式
- 取得し得る株式の総数：200万株（上限）*

*発行済み株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.71%

（参考）2020年3月31日時点の自己株式の保有状況

発行済み株式総数（自己株式を除く） 116,626,274株

自己株式数 224,775株

- 株式の取得価額の総額：25億円（上限）
- 取得期間：2020年5月7日～2020年12月30日
- 取得方法：東京証券取引所における市場買付

目的

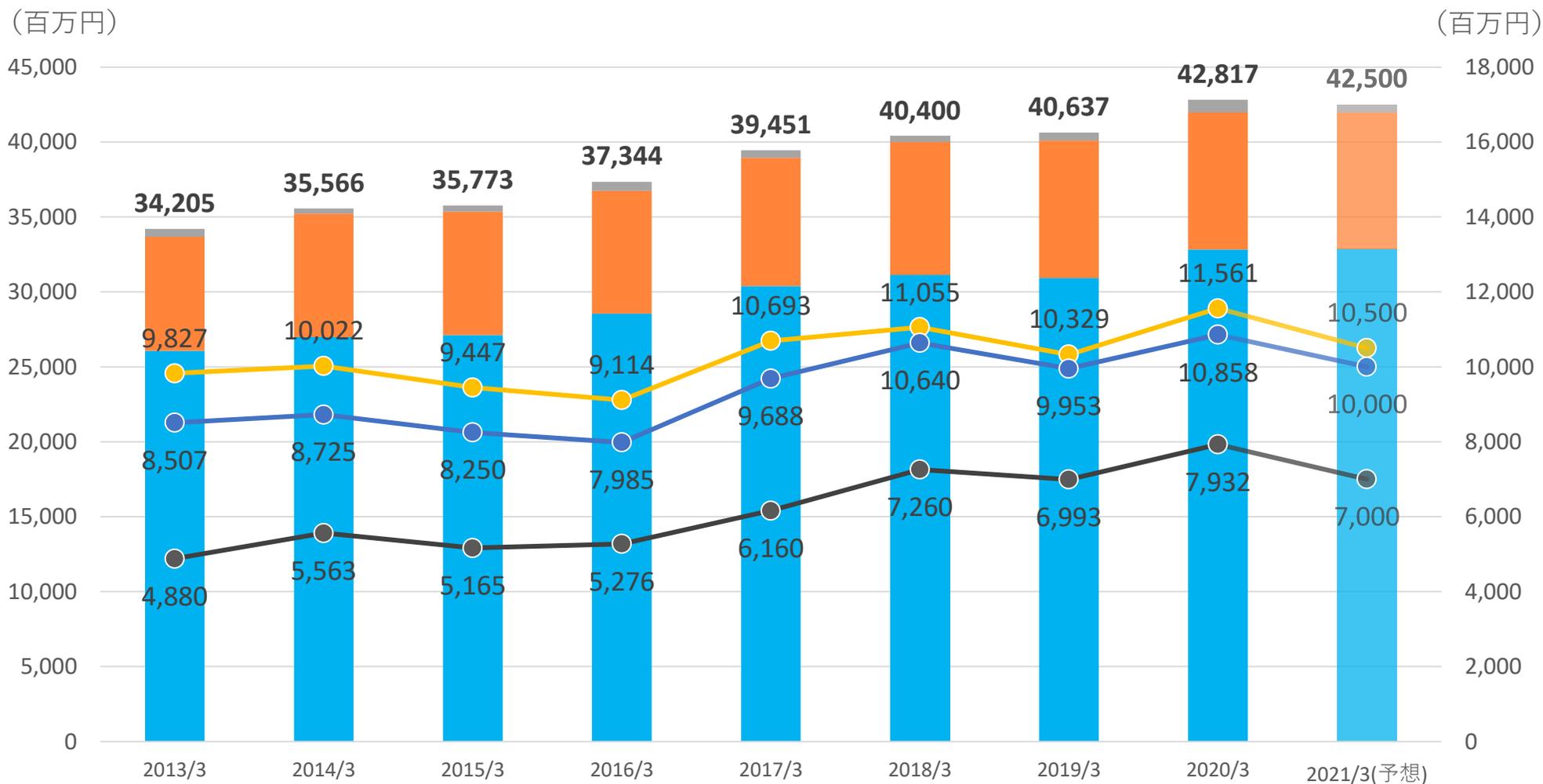
- 株主還元の拡充および資本効率の向上を図るため

その他

- 財務の健全性に影響を与えることなく実施可能と判断
- 取得株式の消却の有無は未定*

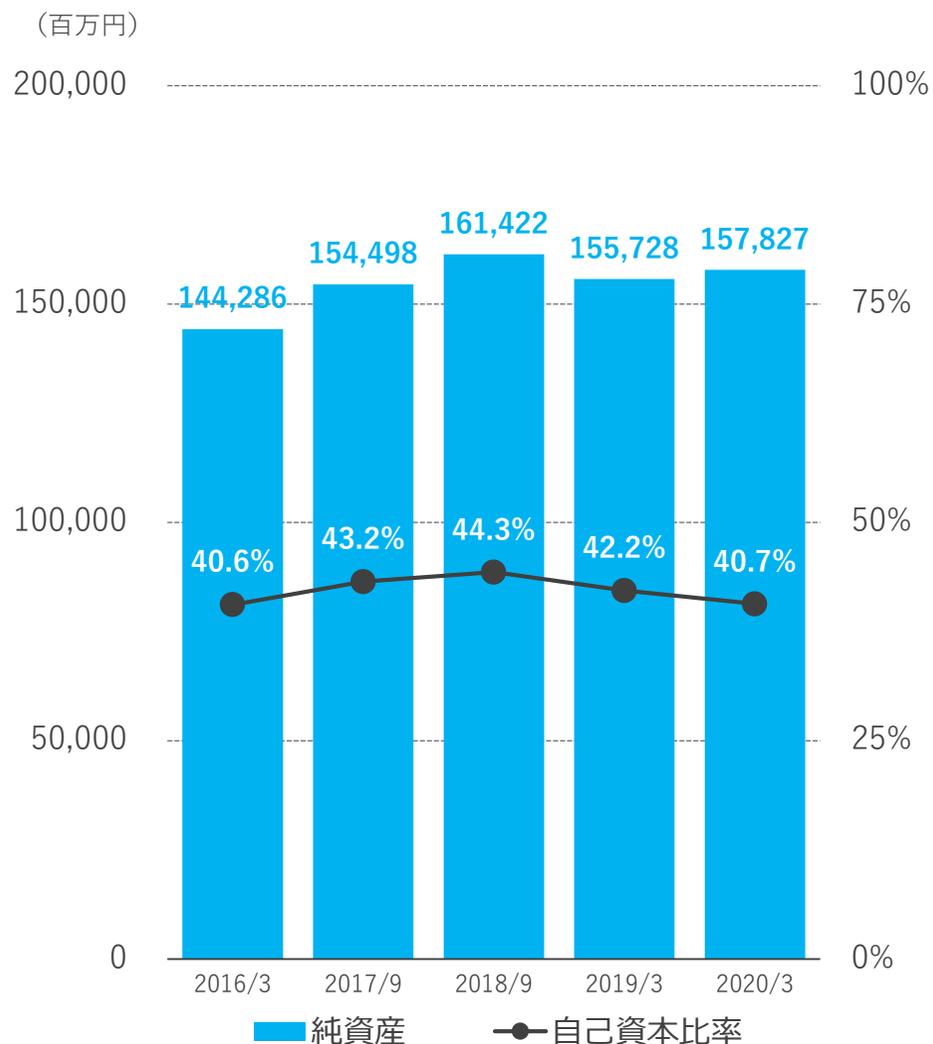
* 今般導入を決定した譲渡制限付株式報酬制度での割り当てに一部用いることも含め、今後検討していく。

営業収益/営業利益/経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益



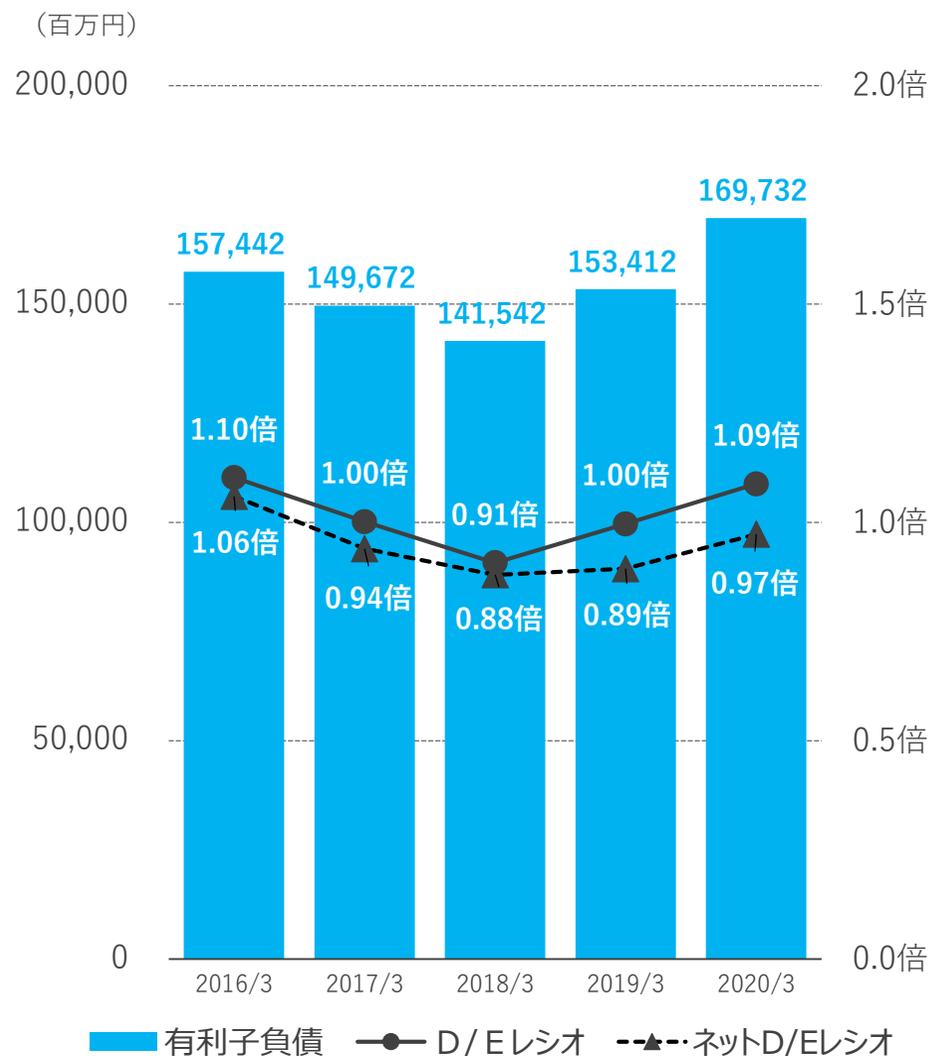
営業収益 (内訳 ■ 土地建物賃貸 ■ ビル管理 ■ その他) ● 営業利益 ● 経常利益 ● 親会社株主に帰属する当期純利益

純資産／自己資本比率



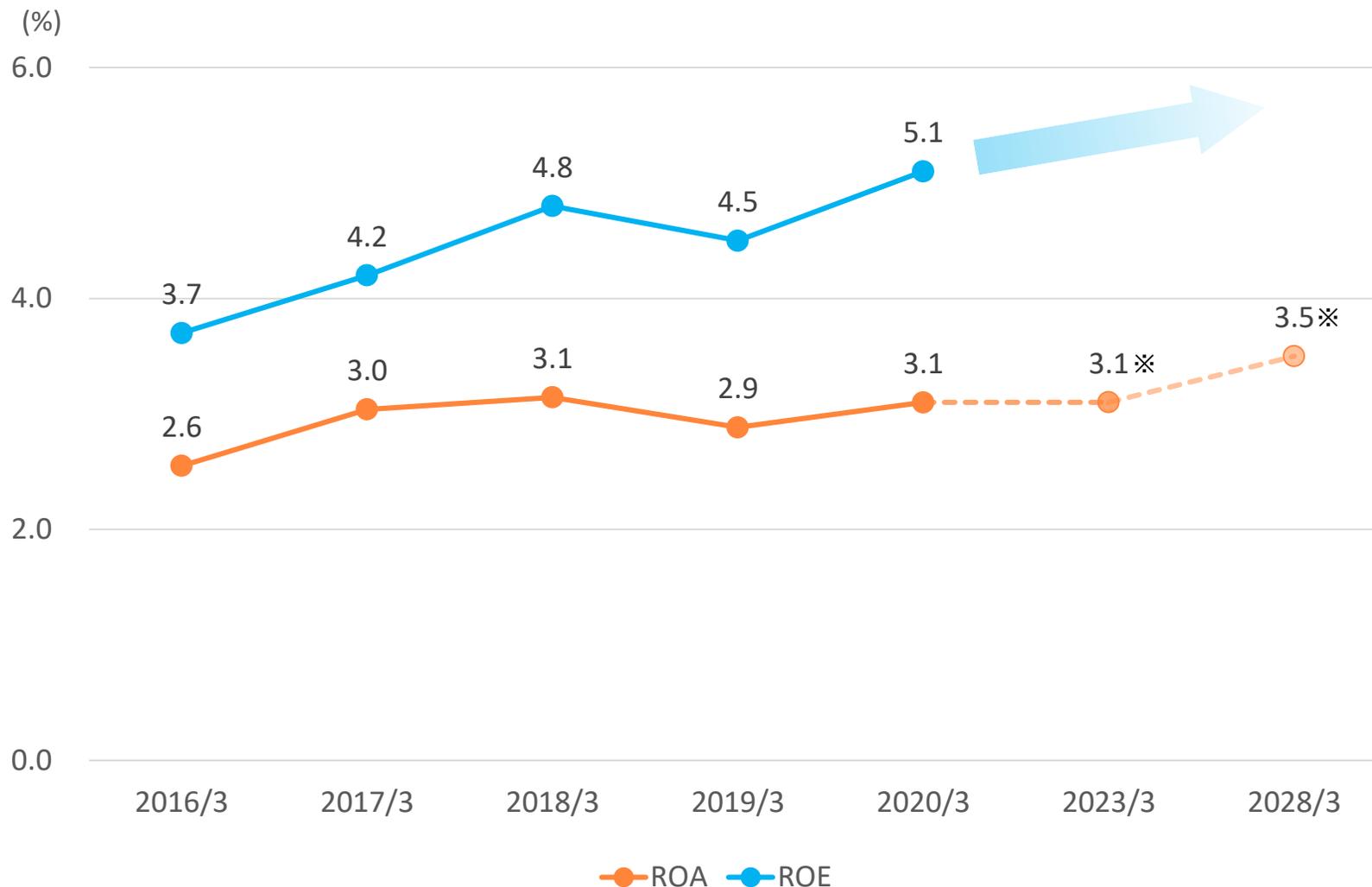
(注) 自己資本比率 = 自己資本 / 総資産

有利子負債／D/Eレシオ



(注) D/Eレシオ = 有利子負債 / 自己資本
 ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現預金) / 自己資本

ROA / ROE



(注) ROA = 営業利益 / 総資産 (期首期末平均)

ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 / 自己資本 (期首期末平均)

※2023年3月期および2028年3月期の数値は中期経営計画策定時のありたい姿を記載しています。

中期経営計画（2018－2022年度）

“Design 100”プロジェクト Phase-II

“Daibiru Excellence” towards Sustainable, Innovative & Global Next 100 (Century)

～ 経営理念への回帰 ～

< 2年目を終えて >



➤ 「経営理念への回帰」をテーマとし、施策を検討

経営理念

「ビルを造り、街を創り、時代を拓く」

5つの重点施策

ディベロップメント

1 都心大型オフィスビル取得

2 投資対象拡充
(都心中小オフィス/商業ビル、地方都市)

既存ビル建替
(八重洲ダイビル・御堂筋ダイビル)

社会との共生

4 既存アセットの競争力維持・強化
高品質なビル管理体制強化
顧客リレーション強化
既存ビル大規模改修

独自の着眼点

3 海外事業推進
(ベトナム事業拡大、オーストラリア他への展開)

5 ビル管理事業強化・拡大

技術投資拡大

ESGへの取り組み強化

➡ 都心大型オフィスビル取得・投資対象拡充・海外事業推進・既存ビル建替につき、このあとのスライドにて詳述します。

日本橋三丁目ビル

- ・ 2019年4月取得
- ・ J R 東京駅八重洲北口 徒歩4分
- ・ 八重洲ダイビルに近接



所在地	東京都中央区日本橋3-2-17
敷地面積	371㎡ (112坪)
延床面積	2,305㎡ (697坪)
階数	地上7階・地下2階
構造	鉄筋コンクリート造
用途	賃貸商業施設
竣工	1989年3月

BiTO AKIBA



～秋葉原をさらに盛り上げる
買・食・遊を提供する新たな商業ビル～

- ・ 2019年11月 グランドオープン
- ・ 満室稼働（全14店舗）
- ・ 新規に立ち上げた商業ビルシリーズブランド
「BiTO」の第一号。
- ・ 「BiTO」には「美しい都」「ビルに集う人々」
という意味が込められている

所在地 東京都千代田区外神田1-18-19

敷地面積 577㎡（175坪）

延床面積 4,948㎡（1,497坪）

階数 地上11階・地下2階

構造 鉄筋コンクリート造、鉄骨造

用途 賃貸商業施設

設計 (株)日建設計

施工 鹿島建設(株)



BiTO AKIBA

- ・ 当社初の全館商業ビル開発案件
- ・ 秋葉原駅電気街口 徒歩1分
- ・ 秋葉原ダイビル、
BiTO AKIBA PLAZAに隣接



BiTO AKIBA



BiTO AKIBA PLAZA
(19年11月20日に名称変更)



ダイビルPIVOT 他

- ・ 2019年11月取得
- ・ 札幌市営地下鉄「大通駅」より地下直結100m
- ・ 初の地方中核都市進出



名称	ダイビルPIVOT	ダイビルPIVOT西館	ダイビルPIVOT南館
所在地	北海道札幌市中央区南2条西4丁目		
用途	賃貸商業施設		
敷地面積	2,790㎡ (844坪)		323㎡ (98坪)
延床面積	20,814㎡ (6,296坪)	214㎡ (65坪)	2,567㎡ (777坪)
階数	地上9階・地下3階	地上3階	地上7階、地下2階
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄筋コンクリート造）	鉄骨造	鉄骨鉄筋コンクリート造
竣工	1969年8月	1985年12月	1969年8月

ダイビルPIVOT 他

路面店が集積する札幌市の伝統的な商業エリアに位置し、かつ札幌市営地下鉄「大通駅」やJR札幌駅までつながる地下歩行空間と地下街を経由して直結。



ダイビルPIVOT 他

札幌を選んだ理由

- 地域ブロック圏の中核都市として、経済・人口が高度に集中
- 観光資源の豊富な北海道の玄関都市
- 今後の安定した経済成長、インバウンドの伸び
- 北海道新幹線の札幌市への延伸、札幌冬季五輪などの有望材料

今後の方針

- 当面はこれまで通り商業施設「PIVOT」として運営
- 札幌事業室（2020年1月開設）が地域と連携を強化
- 札幌市の中心部に位置し、1000坪近い纏まった敷地である希少性を活かし、札幌の街の発展に貢献できるように将来の再開発を計画していく

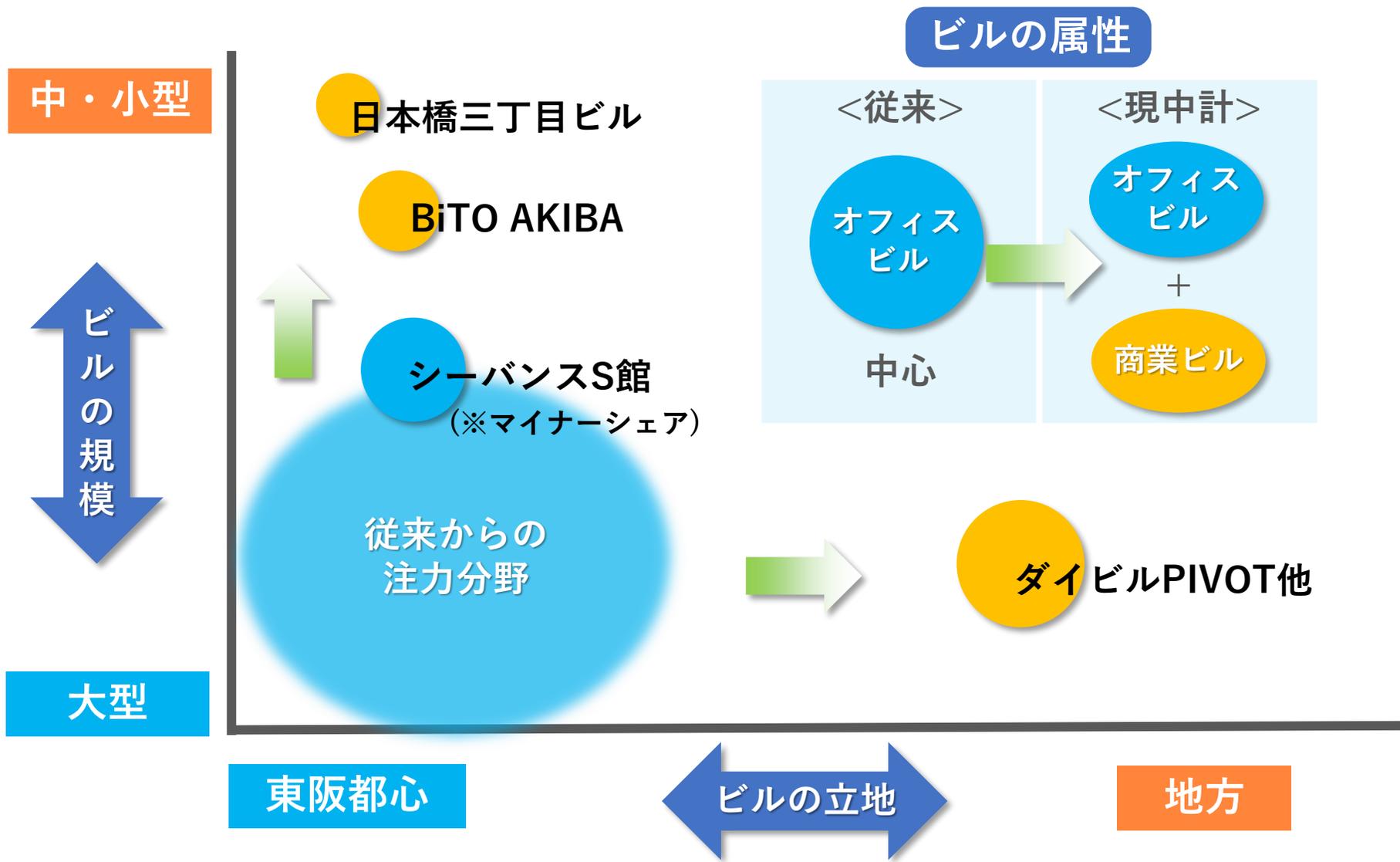
シーバンスS館

- ・ 2019年11月取得
- ・ JR・東京モノレール「浜松町駅」徒歩7分
- ・ 国内では当社初のマイナー出資。
メジャーシェアにこだわらずシェアインすることにより、
都心での投資を実現。

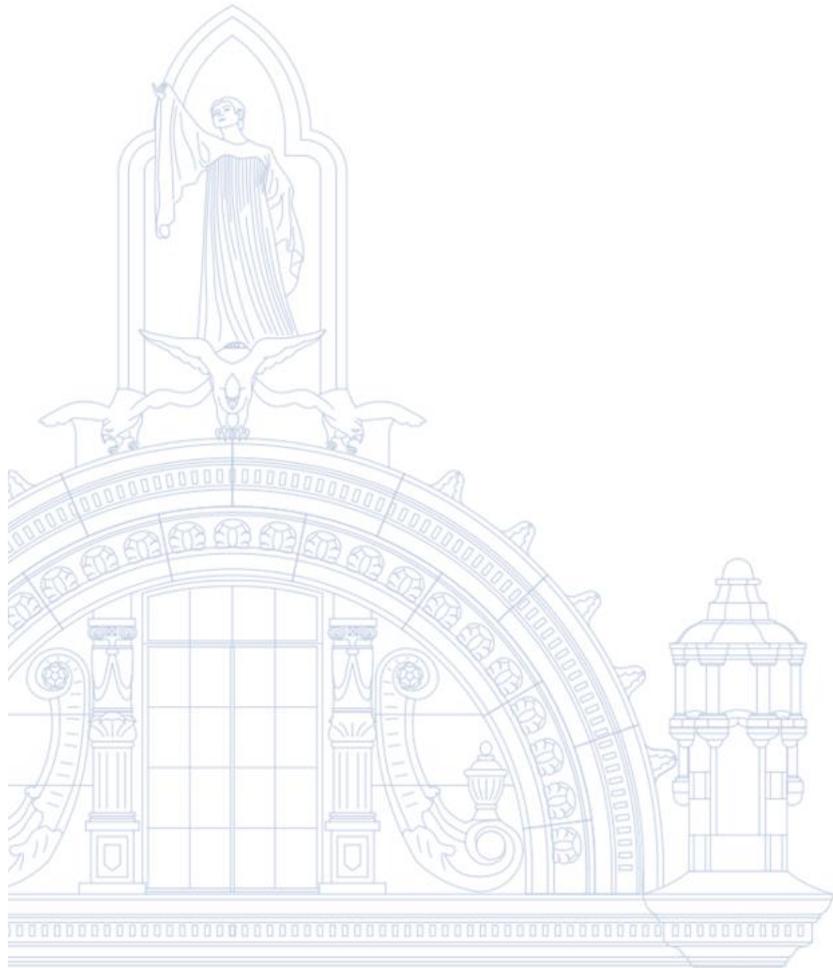
所在地	東京都港区芝浦1-2-3
延床面積	74,222㎡ (22,452坪) ※共同所有者の所有分を含む
持分割合	約10%
階数	地上24階・地下2階
構造	鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造、 鉄筋コンクリート造）
用途	事務所
竣工	1991年1月
設計・施工	清水建設



- ▶ 「都心・大型・オフィスビル」中心から、
「都心中小オフィス/商業ビル、地方都市」へと投資対象を拡充



〈 MEMO 〉



オーストラリア シドニーオフィスビルプロジェクト 275 George Street

シドニーCBD*の好立地

*Central Business District (中心業務地区)

- ・ 2020年度下期 竣工予定
- ・ 躯体工事進行中

所在地	シドニー, 275 George Street
敷地面積	626㎡ (189坪)
貸床面積	約7,200㎡ (約2,200坪)
階数	地上15階、地下3階
構造	鉄筋コンクリート造
用途	事務所・一部店舗
設計	Architectus (豪州建築設計事務所)
施工	John Holland Group



275 George Streetの立地

- ・ シドニーCBDの中心を南北に走る幹線道路George StreetとMargaret Streetに面する角地に所在
- ・ CBD内主要駅の一つWynyard駅に隣接
- ・ 2019年12月より、George Street上でライトレール運行開始
- ・ 2024年には地下鉄新線が完成予定
- ・ Wynyard駅およびBarangaroo地区において再開発進行中
- ・ Barangaroo地区へは公共歩道トンネル(Wynyard Walk)を通じてアクセス可能

➤ **CBD中心の極めて好立地**
開発が進む西側エリアへのアクセス良好
立地優位性は将来更に高まると考えられる

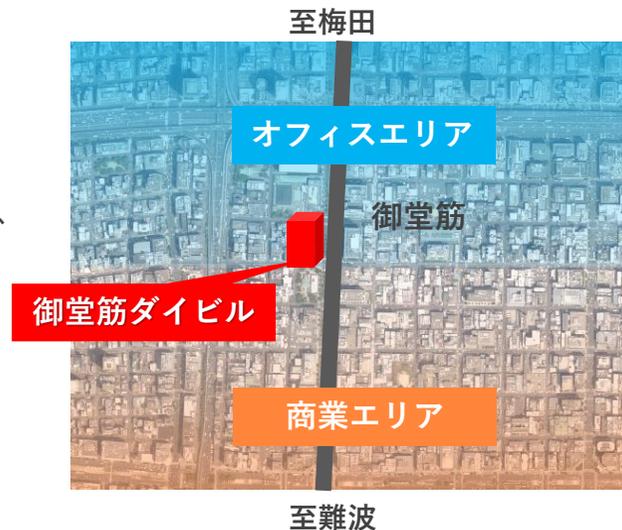


御堂筋ダイビル 建替推進

- オフィスエリアと商業エリアの結節点となる立地。
将来的には御堂筋の側道廃止に伴い、歩行者が増え、賑わいが増すことが想像される。



- 1964年竣工（築56年）
 - 2020年末 閉館予定
- ↓
- 2023年度中の竣工を目指す



御堂筋 完全歩道化イメージ【人中心のストリート】
（御堂筋完成80周年記念事業推進委員会「御堂筋 将来ビジョン(案)」より）

所在地	大阪府中央区南久宝寺町4-1-2
敷地面積	1,483㎡（449坪）
設計	日建設計

八重洲ダイビル 建替推進

- 東京駅至近の八重洲エリア、かつ当物件は八重洲地下街から直結で、オフィス市況の上下に左右されにくいプレミアム立地。



- 1968年竣工（築52年）
 - 2021年末 閉館予定
- ↓
- 2025年度中の竣工を目指す

所在地 東京都中央区京橋1-1-1

敷地面積 1,949㎡（590坪）

設計 日建設計

➤ 2020年度についてはコロナの影響を踏まえ原計画から下方修正

	2017 年度	2018年度		2019 年度	2020年度		2022 年度			2027 年度 (ありたい姿)
		中計数値	実績	実績	中計数値	業績予想				
営業収益	404 億円	405 億円	406 億円	428 億円	430 億円	425 億円	460 億円			550 億円
営業利益	111 億円	100 億円	103 億円	116 億円	110 億円	105 億円	130 億円			180 億円
当期 純利益	73 億円	65 億円	70 億円	79 億円	70 億円	70 億円	80 億円			110 億円
ROA [営業利益 /総資産]	3.1%	2.8%	2.9%	3.1%			3.1%			3.5%程度
D/E レシオ	0.9倍	0.9倍	1.0倍	1.1倍			1.1倍			1.2倍程度

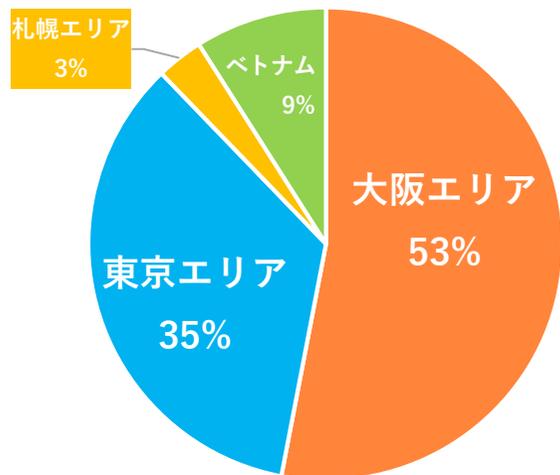
➤ 5年間の総投資額は1,200億円 うち50%相当の投資を決定(2020年3月末時点)

重点施策	中計 5年間投資額 (2018～2022年度)	投資決定額 (20年3月末時点)
成長投資		
① 都心大型オフィスビルの取得	650億円	約300億円
② 投資対象の拡充		
③ 海外事業の推進	400億円	約200億円
事業基盤強化		
④ 既存アセットの競争力維持・強化	150億円	約50億円
⑤ ビル管理事業の強化・拡大		
合計	<u>1,200</u> 億円	<u>約550</u> 億円

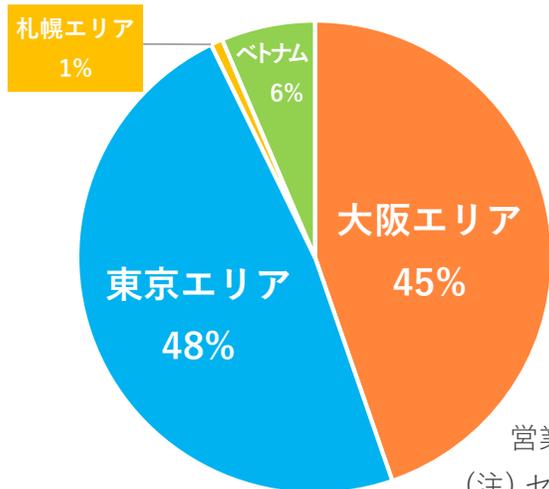
▶ 中期経営計画の投資計画を着実に進行中

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
新規	日本橋三丁目ビル		取得							
新規	BiTO AKIBA	建設	グランドオープン							
新規	シーバンスS館		取得							
新規	275 George Street	PJ取得	建設	竣工・稼働予定						
建替	御堂筋ダイビル	建替決定		閉館		建設		竣工予定		
建替	八重洲ダイビル	建替決定			閉館		建設		竣工予定	
再開発	ダイビルPIVOT 他		取得		再開発概要検討中					

延床面積比率



営業収益比率 (2019年度土地建物賃貸事業)



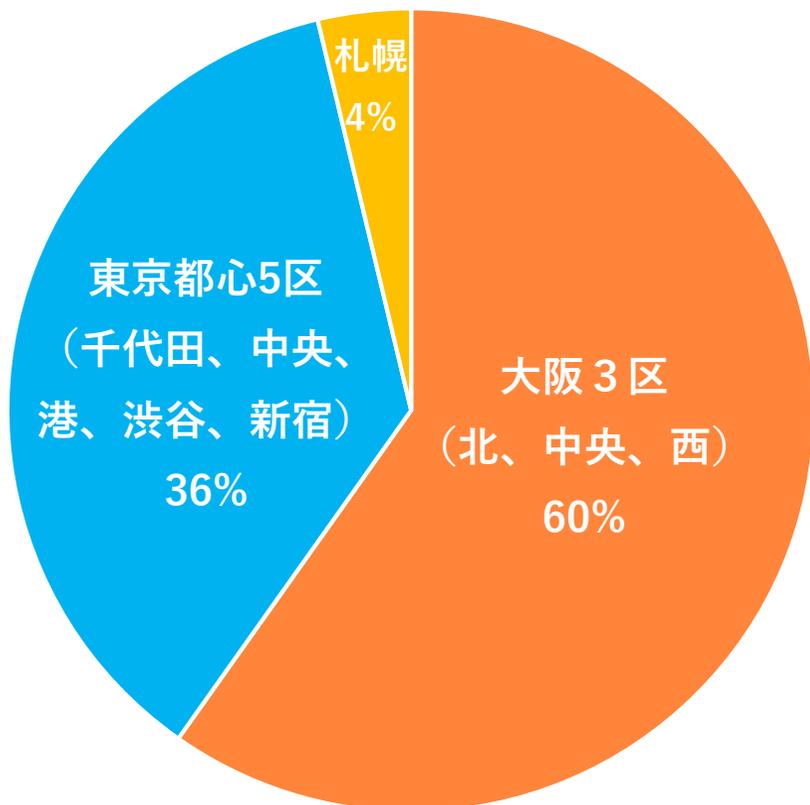
営業収益計 329億円

(注) セグメント間の内部売上高又は振替高消去前

	棟数	延床面積
オフィスビル・商業ビル	32棟	700,208㎡ (211,813坪)
大阪エリア	12棟	378,879㎡ (114,611坪)
東京エリア	15棟	231,254㎡ (69,954坪)
札幌エリア	3棟	23,595㎡ (7,137坪)
ベトナム	2棟	66,480㎡ (20,110坪)
レジデンス	15棟	39,335㎡ (11,899坪)
大阪エリア	2棟	13,184㎡ (3,988坪)
東京エリア	13棟	26,151㎡ (7,911坪)
合計	47棟	739,543㎡ (223,712坪)

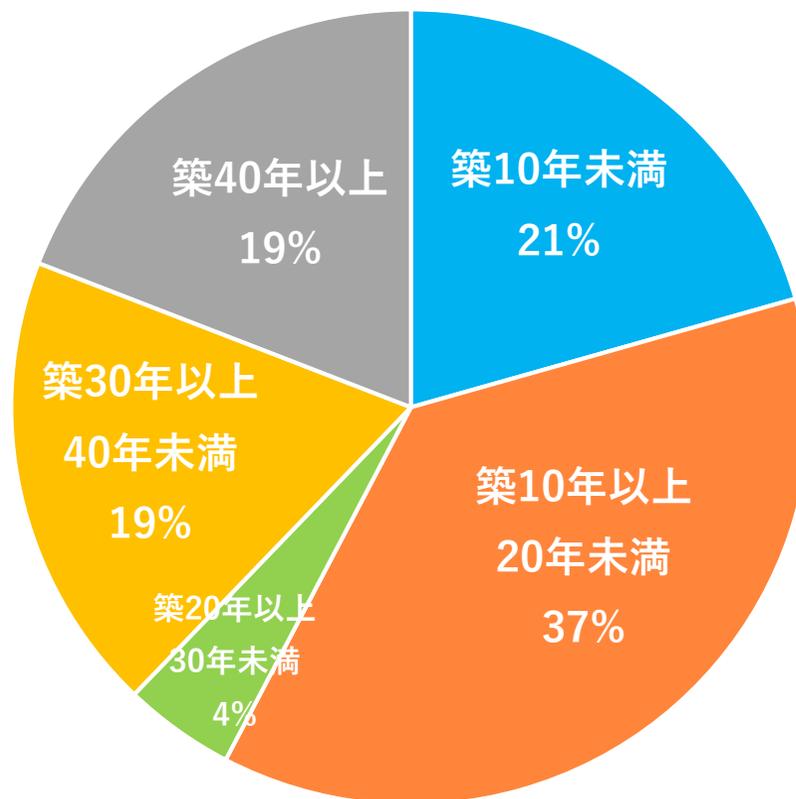
(注) 2020年3月31日現在稼働中の物件。共有物件は当社持分を記載

オフィスビル・商業ビル
所在地別 延床面積比率



都心部に集中的に保有

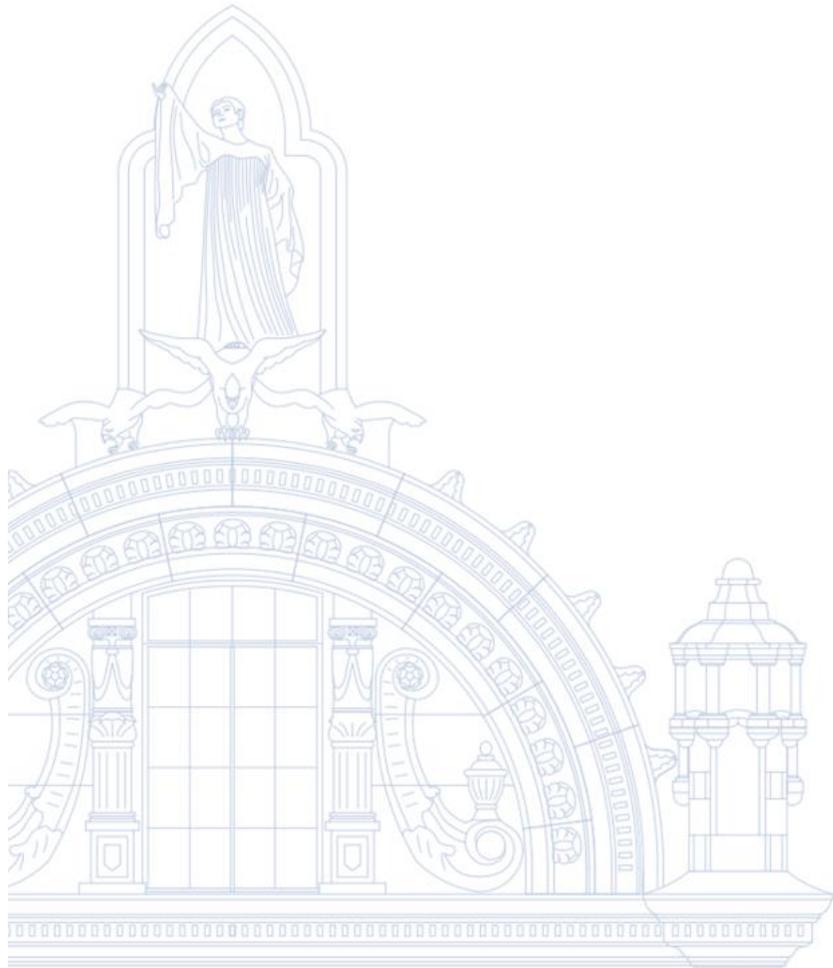
オフィスビル・商業ビル
築年数別延床面積比率



築年数別に分散

(注) 2020年3月31日現在稼働中の物件。共有物件は当社持分を記載

〈 MEMO 〉



ダイビル本館



延床面積：48,198㎡
規模：地上22階・地下2階
竣工：2013年2月

中之島ダイビル



延床面積：79,543㎡
規模：地上35階・地下2階
竣工：2009年3月

新ダイビル



延床面積：77,388㎡
規模：地上31階・地下2階
竣工：2015年3月

梅田ダイビル



延床面積：42,363㎡
規模：地上23階・地下3階
竣工：2000年5月

土佐堀ダイビル



延床面積：37,497㎡
規模：地上17階・地下1階
竣工：2009年7月

御堂筋ダイビル



延床面積：13,399㎡
規模：地上8階・地下3階
竣工：1964年9月

淀屋橋ダイビル



延床面積：11,273㎡
規模：地上14階・地下2階
竣工：1997年2月

淡路町ダイビル



延床面積：10,344㎡
規模：地上8階・地下1階
竣工：1986年5月

堂北ダイビル



延床面積：4,283㎡
規模：地上7階・地下1階
竣工：1986年3月

北梅田ダイビル



延床面積：4,185㎡
規模：地上8階・地下1階
竣工：1997年1月

エステート土佐堀



延床面積：5,635㎡
規模：地上5階・地下1階
竣工：1997年10月

堂島ダイビル

(ANAクラウンプラザホテル大阪)



延床面積：44,770㎡
規模：地上23階・地下3階
竣工：1984年9月

日比谷ダイビル



延床面積：29,961㎡
規模：地上21階・地下3階
竣工：1989年10月

秋葉原ダイビル



延床面積：50,290㎡
規模：地上31階・地下2階
竣工：2005年3月

商船三井ビルディング (虎ノ門ダイビル)



延床面積：34,655㎡
規模：地上16階・地下3階
竣工：1979年11月

八重洲ダイビル



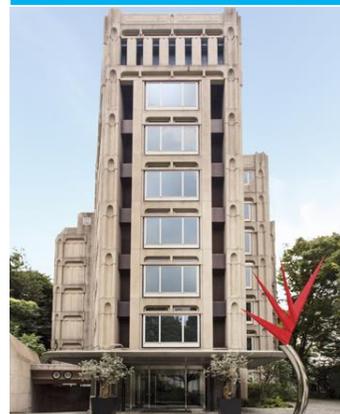
延床面積：26,723㎡
規模：地上9階・地下5階
竣工：1968年6月

青山ライズスクエア



延床面積：25,011㎡
※共同所有者の所有分を含む
規模：地上16階・地下2階
竣工：2003年4月

麹町ダイビル



延床面積：11,610㎡
規模：地上7階・地下2階
竣工：1976年9月

芝ダイビル



延床面積：10,833㎡
規模：地上10階・地下1階
竣工：1989年6月

内幸町ダイビル



延床面積：10,122㎡
※共同所有者の所有分を含む
規模：地上9階・地下2階
竣工：1983年1月

三田日東ダイビル



延床面積：10,008㎡
※共同所有者の所有分を含む
 規模：地上8階・地下1階
 竣工：1986年9月

エステート芝



延床面積：499㎡
 規模：地上5階
 竣工：1987年12月

シーバンスS館



延床面積：74,222㎡
※共同所有者の所有分を含む
 規模：地上24階・地下2階
 竣工：1991年1月

新宿ダイビル (新宿アルタ館)



延床面積：11,255㎡
 規模：地上8階・地下3階
 竣工：1980年4月

BiTO AKIBA



延床面積：4,948㎡
 規模：地上11階・地下2階
 竣工：2019年7月

BiTO AKIBA PLAZA



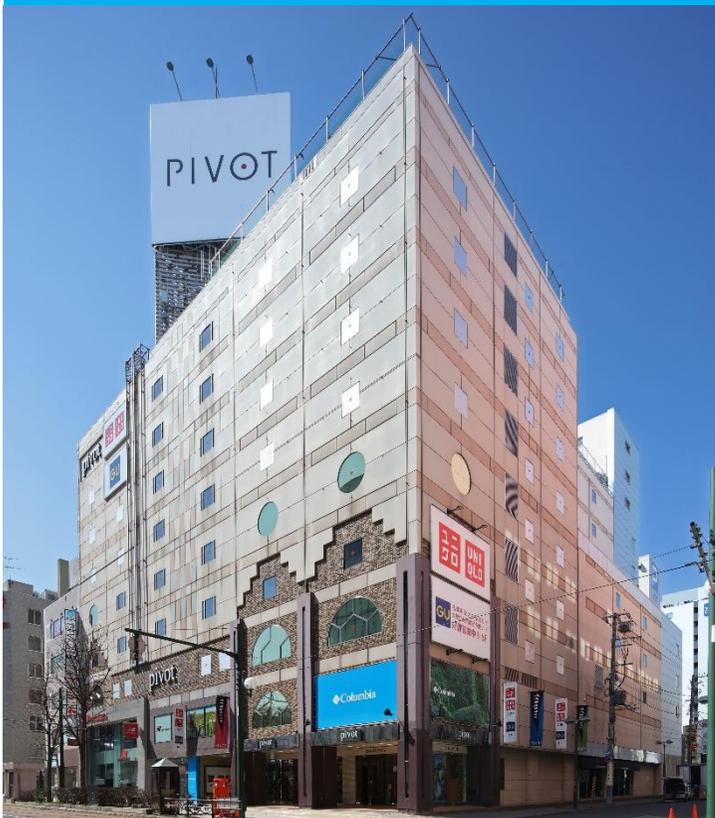
延床面積：3,201㎡
 規模：地上9階・地下1階
 竣工：2005年3月

日本橋三丁目ビル



延床面積：2,305㎡
 規模：地上7階・地下2階
 竣工：1989年3月

ダイビルPIVOT



延床面積：20,814㎡
規模：地上9階・地下3階
竣工：1969年8月

ダイビルPIVOT西館



延床面積：214㎡
規模：地上3階
竣工：1985年12月

ダイビルPIVOT南館



延床面積：2,567㎡
規模：地上7階・地下2階
竣工：1969年8月



コーナーストーン・ビルディング



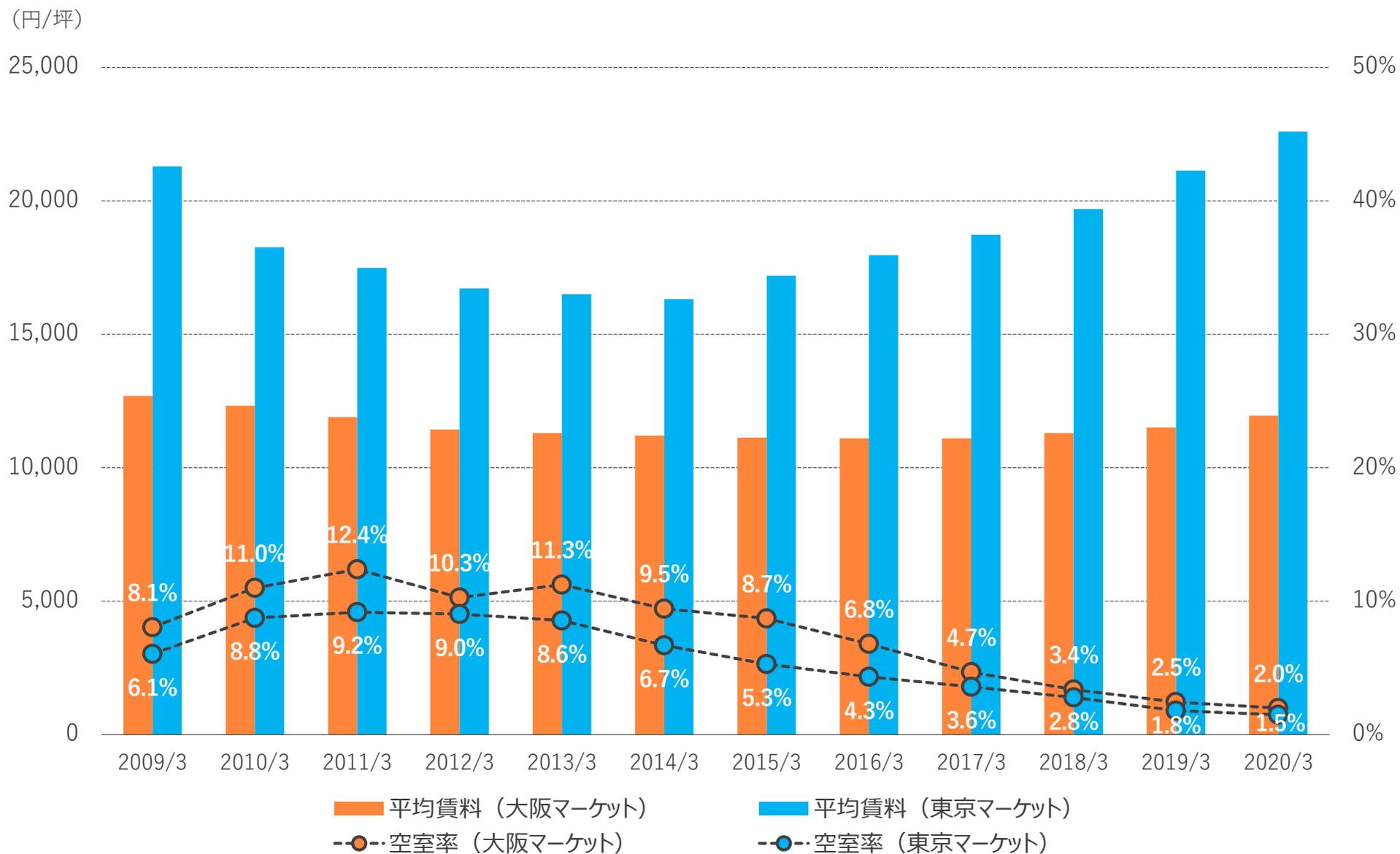
延床面積：48,494㎡
 規模：地上14階、地下3階
 竣工：2013年6月

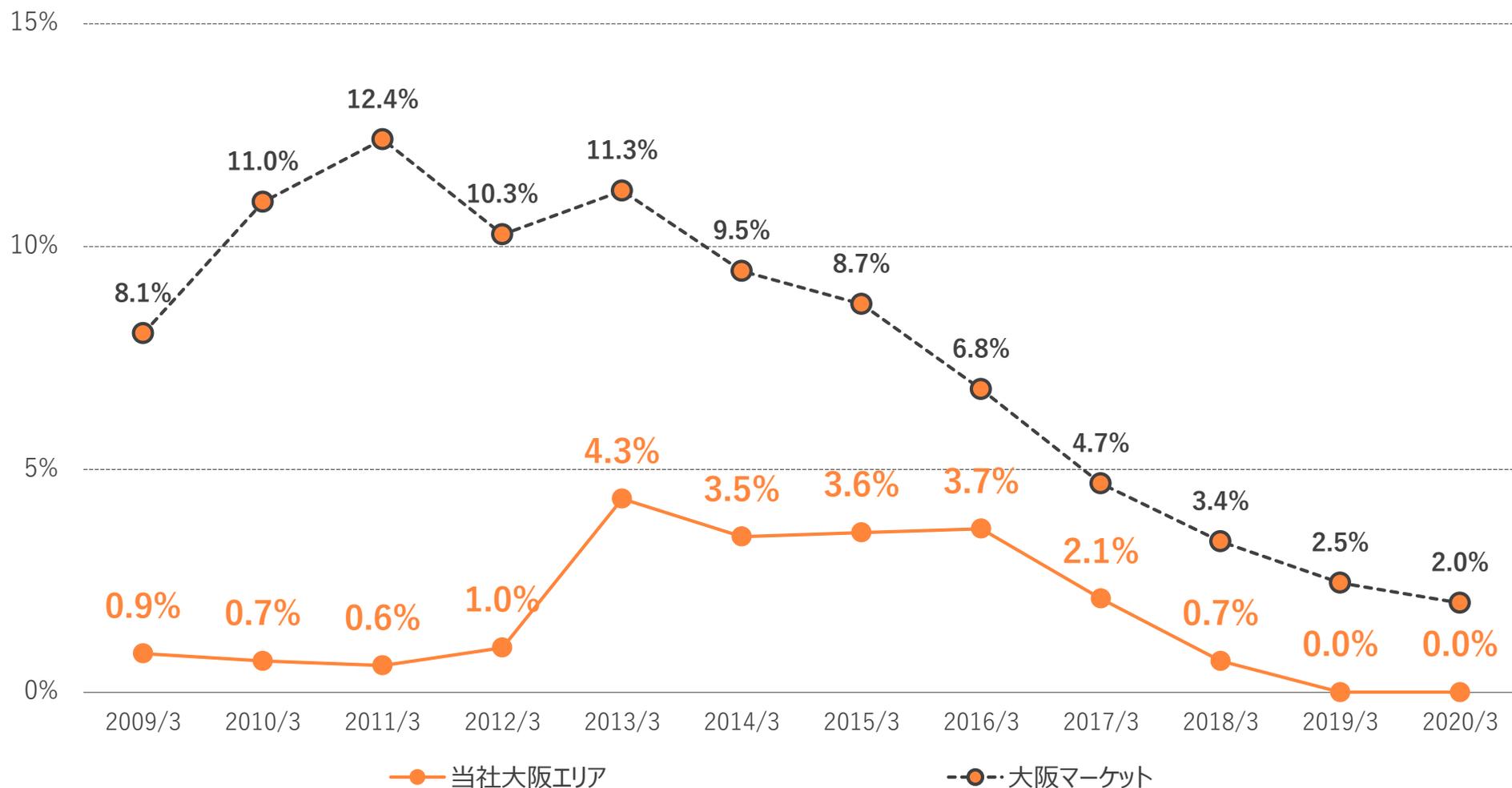


サイゴン・タワー



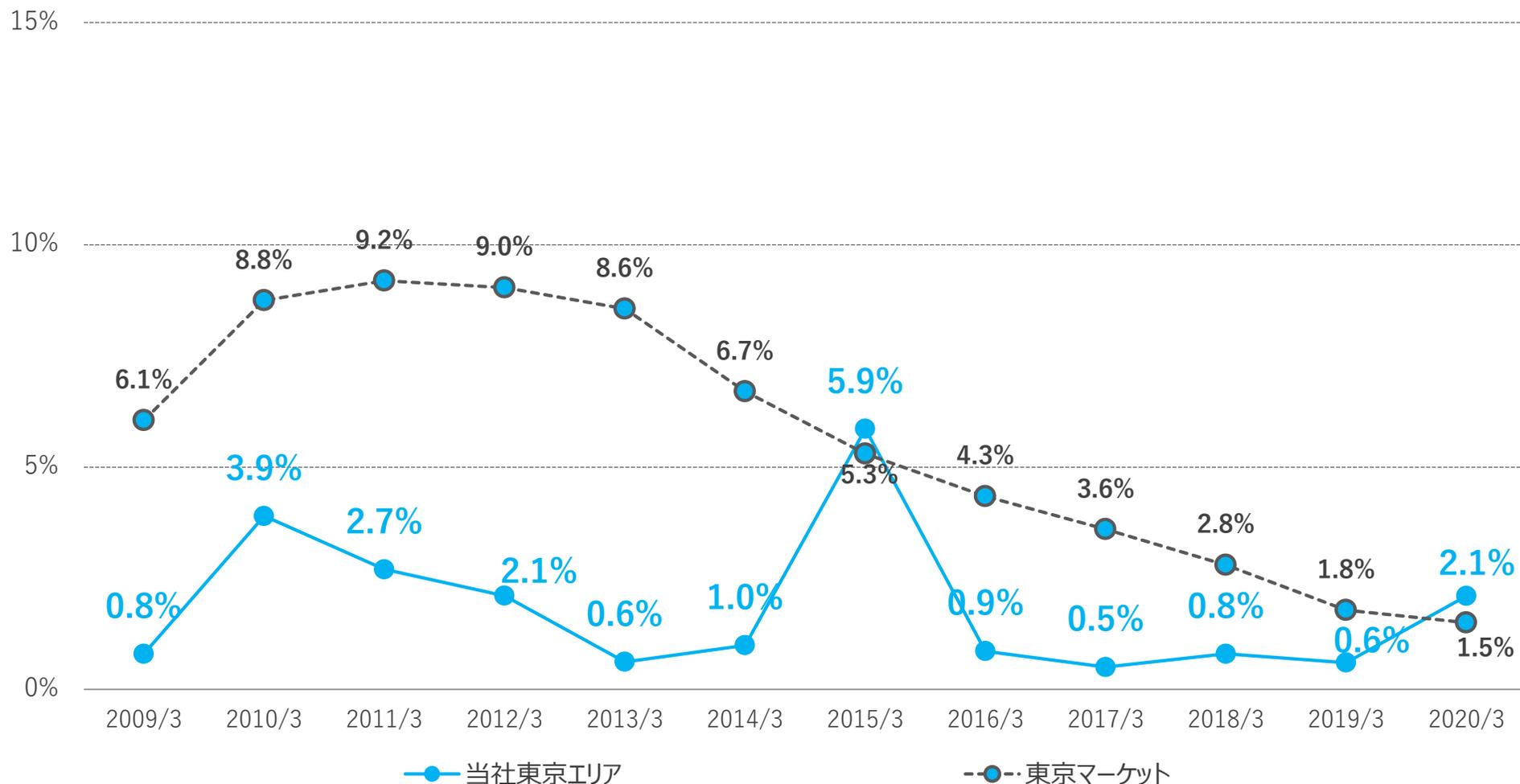
延床面積：17,986㎡
 規模：地上18階、地下2階
 竣工：1996年12月





	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3
当社大阪東京平均空室率	0.8%	2.1%	1.6%	1.5%	2.8%	2.4%	4.4%	2.6%	1.5%	0.7%	0.2%	0.8%

(注) 2019年3月末および2020年3月末の当社空室率は八重洲ダイビルおよび御堂筋ダイビルを含みません。 出典：三鬼商事 OFFICE MARKET DATA

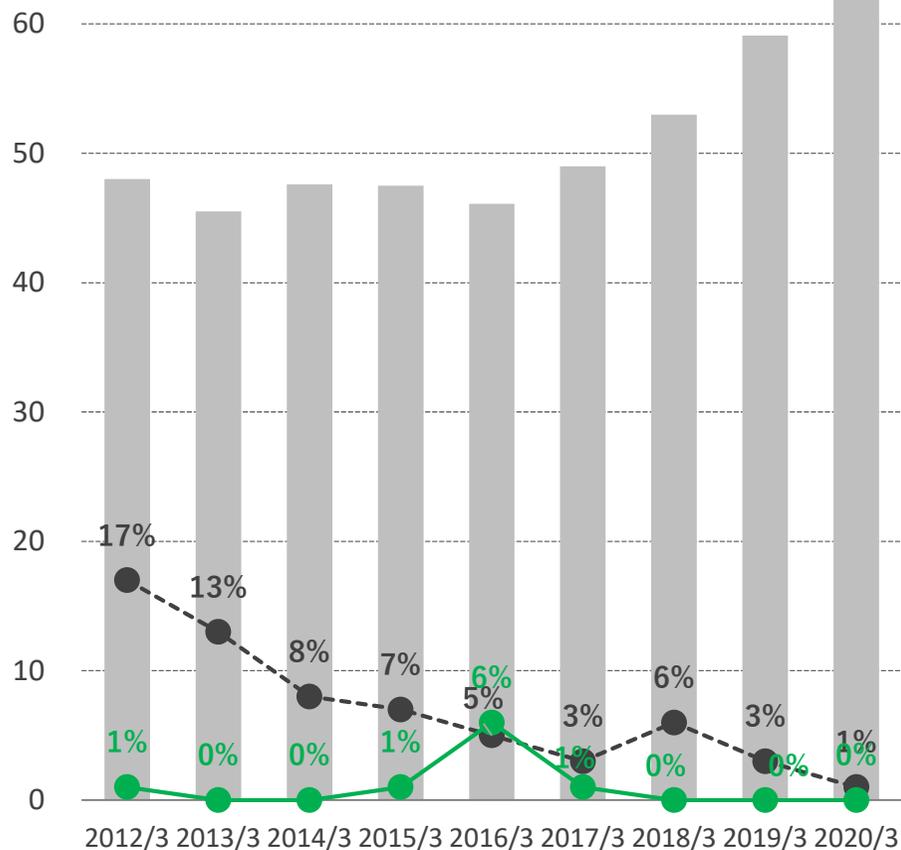


	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3
当社大阪東京平均空室率	0.8%	2.1%	1.6%	1.5%	2.8%	2.4%	4.4%	2.6%	1.5%	0.7%	0.2%	0.8%

(注) 2019年3月末および2020年3月末の当社空室率は八重洲ダイビルおよび御堂筋ダイビルを含みません。

ホーチミン

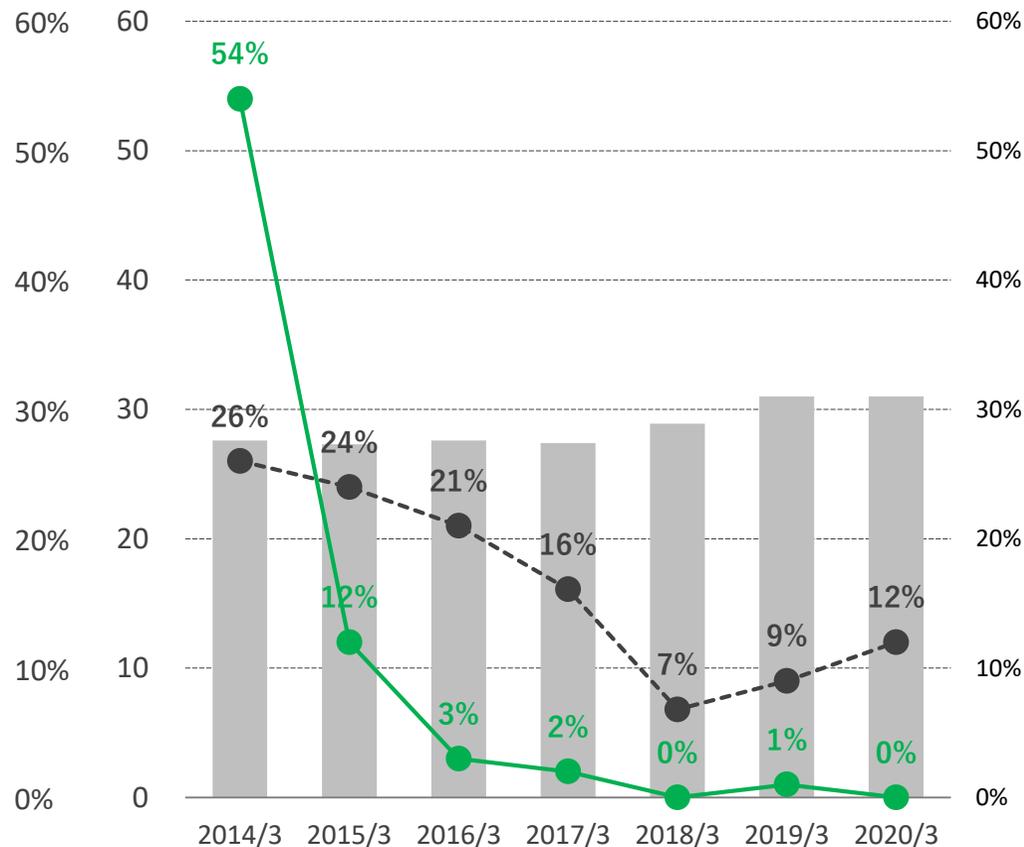
(US\$/m²/月)



平均賃料 (グレードA)
 空室率 (グレードA)
 空室率 (サイゴントワー)

ハノイ

(US\$/m²/月)



平均賃料 (グレードA)
 空室率 (グレードA)
 空室率 (コーナーストーン)

お問い合わせ先

ダイビル株式会社 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課

06-7506-9516

<https://www.daibiru.co.jp/>

<免責事項>

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。